

平成28年 省エネルギー基準対応

作成：2017年5月8日

自己適合宣言書文書番号：LXEC-1607

更新：2024年1月31日

JIS Q 17050-1に基づく自己適合宣言書（附属書）：DWG012

株式会社LIXIL

サッシ・ドア事業部 ドアSBU

※1.各熱貫流率が、以下①、②のいずれに準拠しているかを掲載しています。

①「建具とガラスの組み合わせ」による熱貫流率

②試験、計算による熱貫流率 ※2

※2.試験は「JIS A 4710」、計算は「JIS A 2102」または国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「熱貫流率及び線熱貫流率 ドアの簡易的評価」に基づく代表試験体の熱貫流率です。

代表試験体は、国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「住宅・建築物の省エネルギー基準及び低炭素建築物の認定基準に関する技術情報」に基づきます。

菩提樹

枠と戸の仕様	対象型番	開閉形式		ガラスの仕様	ガラス中央部の熱貫流率 [W/(mK)]	開口部の熱貫流率 [W/(mK)]		開口部の日射熱取得率(η)		性能根拠 ※1	
						付属部材無し	風除室あり	付属部材無し	風除室あり	①	②
金属製建具	212型、214型、232型	2枚建戸	ランマなし ランマ付	障子：単板ガラス (ランマ：同上)	—	6.51	3.95	0.70	0.65	○	